復興かわらばん 第３号

～釜石市栗橋・鵜住居地域の文化・自然・産業を活かした復興まちづくり～

官民協働の復興まちづくり計画等検討ワークショップ（第３回）開催！

平成 24 年 9 月 30日 (土)、栗橋地区基幹集落センターで、「官民協働の復興まちづくり計画等検討ワークショップ」の第３回目が開催され、周辺集落の住民約 20名が集まり、復興に向けた地域の課題とこれからの解決策を夢を持って語り合いました。「復興かわらばん」第３号では、このワークショップの様子をお伝えし、皆様からどのような意見が出されたかをお知らせします。

発行日：平成 24 年 10 月 26 日　発　行：(財) 都市農地活用支援センター
作　成：ＮＰＯ風・波デザイン 芝浦工業大学学生有志

１４：００スタート

1 ■来賓挨拶

復興庁岩手復興局復興推進官
亀村　幸泰　氏

過去２回とも参加させていただきましたが、かなり形になってきたと思います。今回第３回復興の思いを実現する方法を考えてえてみようということで、取りまとめを行い、是非いい案をまとめていただけたらと思っております。

2 ■理事挨拶

(財) 都市農地活用支援センター理事
統括研究員　佐藤　啓二　理事

本日３回目その方向をさらに具体化し、まとめるのが本日であると思います。今までの集大成になると思います。皆さんの気持ちが詰まった内容になりますことを、心からお祈りしております。

地産地消のデータを皆さまから頂きまして、マップを作りました。観光交流拠点を造るとしたらどういうものがあるかなどや、実現のために何が必要かなどをワークショップでお話してまとめて頂きたいと思っています。里山里海を連携させて次元の違うものを造れるかが勝負ではないかと思っております。

学生が作った地産地消 MAP を説明！！

3 ■趣旨説明

芝浦工業大学　システム理工学部
松下　潤　教授

4 ■ワークショップの説明

(財) 都市農地活用支援センター次長
橋本　千代司

パート１では、
① 地産地消マップについて皆さまが知っていて、欠けている情報を教えてください。
②山と海を繋ぐことで今すぐ・長期的にできること、取組みたいことを話し合ってください。
パート２では、
『地域連携拠点』を作るとしたら、
① どういうのがあると良いか
②実現のために何が必要か
話し合ってください。

※さぁ、ワークショップの結果は！？次の頁にまとめました。

2つのグループに分かれて話し合いました！

5 ワークショップで出てきた住民の皆さんのご意見　まとめ

共同でできること地産地消MAPを参考にしながら。。。
①欠けているものはないか
②山と海を繋ぐことで
　長期で取りくむこと今すぐできることを考えてみる

A グループ
（女性１名、男性６名）
栗橋地域の方が多く
入っているグループ

地産地消MAPで欠けているもの
・橋野高炉
・貞任高原のウィンドファーム
・和山牧場
・三浦命助の偉業、石碑
・鉄の跡　「鉄」の道

★地域各々で話し合いの機会を設ける！
→自然に釜石全体で繋がる！！

山と海を繋ぐもので、長期で取り組むこと
・リーダーの育成
・資源を活用できるようにハード面などを整備する。
・子供達が地域を愛せるように教育する。
・（拠点施設のイメージとして・・）資源の整理をする場を作る。→情報を繋ぐ
　⇒新しいものを造る。創造する。
・地域の住民等の知識の集積
・オール栗橋→オール栗橋でまとまることによって、鵜住居地域等の応援もできるようになる。⇒オール釜石！連携！
・他の都市との産直の連携。（ex：沖縄の産直⇔釜石の産直）
・自治会の再生→自治体の連携
・バスツアーなどを組む

今すぐできること
・地域での勉強会
・子供が地域を愛する為の
　伝承→学校で！
・歴史を追う
・子供と老人が手を
　取り合う環境
・地域の特徴を把握し出し合う
・鵜住居の応援・支援

B グループ
（女性３名、男性５名）
鵜住居地域の方が多く
入っているグループ

地産地消MAPで欠けているもの
・鵜住居地区の花卉栽培
・めかぶのきざみ　小島商店
・民宿の発祥地　白浜
・愛の浜
・鵜住居、箱崎、片岸、両石それぞれの地区の虎舞

★グリーン・ツーリズムの見える化！民泊の実施！！
→さらに多くの人を釜石に！！

山と海を繋ぐもので、長期で取り組むこと
・里山里海プロジェクトチームの立ち上げ。協議会から始めよう！
・地産地消専門家の講習会。根浜塾の拡大化
・山菜＋ウニ丼安く提供する
・体験創造センターのような施設があってみんなが集まって商品開発に取り組めるもの
・人が入りやすいオープンな雰囲気を出す
・防災の勉強地として生きる勉強の場づくり
・郷土料理研究会等の食で海と山のコラボレーション
・グリーンツーリズムで橋野の民泊に泊まり、
　朝⇒朝採りの野菜で朝食で
　昼⇒海で釣り等の遊びをして
　夜⇒海と山のパーティー

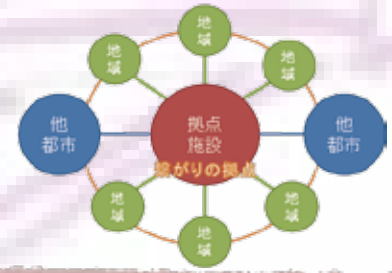
今すぐできること
・海と山の資源のコラボ化
・産直施設の設置
・鵜住居又は片岸地区（山と海の中心地区）あたりに産直センター
・グリーン・ツーリズムのルート・メニュー開発
・箱崎半島のブランドづくり（名物料理等）
・古民家再生
・エコツーリズム空間を目に見えるコーディネートする

２つのグループに分かれて話し合いました！

ワークショップで出てきた住民の皆さんのご意見　まとめ

地域交流拠点をつくるとしたら…
①どういうもの？
②実現のために何が必要か？

A グループ
（女性３名、男性５名）
栗橋地域の方が多く
入っているグループ



どういうもの？

〇場所
・４５号線・中心部（便利な場所）
・釜石～遠野間もよい
・交通の優位性が良いとこ→鵜住居地区
〇機能
①民泊の活用施設
・現在あるもるものを活用した機能
・民泊とリゾートを繋ぐ拠点施設
・民泊や体験の紹介・報告が出来る施設
②その他
・田舎らしさを活かしたもの→ドックラン、遊歩道など
・他の都市にないものを活用→ホタルが見えるなど
・伝統文化を学んで発表する場（伝承にもつながる）→シアター、劇場など
・学生にスポットを当てて、海・山のことを知らせる機能
・観光客や他の都市にも祭りなどに参加してもらう機能（リピーターを増やす）
・出会いの場

実現のために何が必要か？

①魅力
・自然の活用
・滞在の魅力をつける
・温泉のような泊まる目的
・休む場所（ゆっくり出来る場所）
・居住者が魅力を伝えられるように人材育成
②情報発信
・情報を発信し地域全体で周知していく
③地域の連携
・各地域が協力して取り組む仕組み
・集まるきっかけが必要
④外からのアイディア
・来街者目線で新しいもの
・拠点のターゲットを絞る
⑤お金　⑥夢

B グループ
（女性４名、男性５名）
鵜住居地域の方が多く
入っているグループ

どういうもの？

〇機能
①内容
・コンビニ（２４ｈ）、民宿、温泉
・産直市場
・道の駅＋２４ｈ営業＋産直市場
・体験＋情報の機能（シープラザに負けないもの）
・海と山全体のコーディネート拠点
・組合員でなくても海・川釣りが出来る場所
・温泉施設（再生エネルギーの活用）
②効果
・雇用の場→人材育成につながる
・商品への情報掲示
・FM ラジオ（情報発信）
・持続可能な集落（有機栽培等）
・農民の意欲を高められる場
・年間を通して海産物の出荷
③周辺施設
・根浜と橋野を繋ぐウォーキングコースの展開

実現のために何が必要か？

①資金
②組織・事務局
③専門家を雇う
④役所が動く
⑤公設を使用（民営）
⑥人材育成
・外からくる人を受け入れる
・人材公募（好きな人が来る、選ぶ力も必要）
⑦案内人
・現地を分かる人
・若い人
⑧株式
・最終的に株式で動く
⑨農協との協力
・JA 花巻に協力してもらう
⑩売れる量だけ生産
・売れれば意欲にもつながる
・直接買ってもらう

6 ■発表

各班に５分づつ発表してもらいました。

A　グループの発表

パート１

自治会を再生して、連携をとっていきたい。そこで必要なものは繋がりである

学校にも未来の子供達のために共同芸能、地元学を教えたい！

パート２

橋野・栗橋にある自然を活用するため民泊を 45 号線付近に置きたい！

沖縄から物産展を呼び込むと共にこちらの物産も発信！

都会の人を癒せる、温泉、山菜、ウォーキングコースを PR ！

これら全てみんなで協力して行いたい！！

B　グループの発表

パート１

食→コジマ商店さんの、山菜屋さん等名所がある！

観光→虎舞を全ての地区集まり合戦！

パート２　必要なものは。。。

①産直

山と海の物をまとめて売る 24H 営業のお店は、産直・雇用の場になる！

②コンシェルジュ

体験やどこへ行けばなにが出来るなどの分かる、コンシェルジュのような形の方を作りたい！

③交流拠点の場

販売の専門家や、販売できる人が必要。専門家でなくても地元の方を育成していける拠点となってほしい！

現地の若い方が集められる場所も作っていくべきでないか！

7 ■総括　松下　潤　教授より

今回、皆様方のパワーが大きくアップしたと感じました。

観光交流拠点を中心に里山里海の連携をつくる、繋がりを形にする、それから外部へアピールしていく、あるいは拡大していくことが重要だと思います。

今後も、皆さんがまとまって、私たちもご支援していきたいと思います。今日が終わりでなく、今日が第１歩目ということで、これから始めるとのことですので、今後も皆さんの地域の力の集結をして頂きたいと思います。

終わりに、

参加者の皆様と「ふるさと」を合唱し、♪

和やかにワークショップは終了致しました！

ワークショップにて多摩センターへご招待の詳細発表！！

その後 10/12-13 多摩にて行われた交流会については瓦版６枚目をチェック！

１７：００　終了

おつかれさまでした！

鵜住居、栗橋地域ほかご参加のみなさまどうもありがとうございます。

復興かわらばん　第３号　　平成 24 年１０月２６日　発行

復興かわらばん作成：NPO風・波デザイン　芝浦工業大学有志

主催者・協力団体

復興庁岩手復興局復興推進官	亀村幸泰
ＵＲ都市再生機構岩手震災復興支援局	佐々木功
ＵＲ都市再生機構岩手震災復興支援局釜石支援事務所　所長	大山　猛
ＵＲ都市再生機構岩手震災復興支援局釜石支援事務所　主幹	鈴木孝弘
芝浦工業大学システム理工学部教授	松下　潤
NPO 法人　風・波デザイン　代表運営委員	丸山佑介
NPO 法人　風・波デザイン　運営委員	小笠原悦子
NPO 法人　風・波デザイン　コーディネーター	森田麻里
釜石市職員	菊池公男
	佐々木利光
	伊藤浩二
東北芸術工科大学	菊池優実江
芝浦工業大学　学生	有馬沙名瑛
	大高佑介
	垣田良子
	津吹有香
修士	
JA いわて花巻	
（財）都市農地活用支援センター理事　統括研究員	佐藤啓二
（財）都市農地活用支援センター次長	橋本千代司

参考資料：参加者の皆さんからのアンケートの分析

アンケート様式１
ソーシャル・キャピタルに関するアンケート

ソーシャル・キャピタル（Social capital）は、人々が持つ信頼関係や人間関係（社会的ネットワーク）のことを指し、上下関係のある垂直的人間関係でなく、平等主義的な、水平的人間関係を意味します。

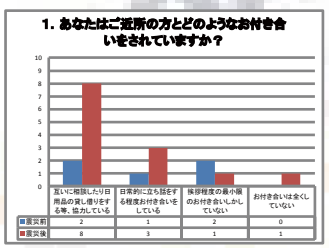


図１　ご近所間のお付き合いについて

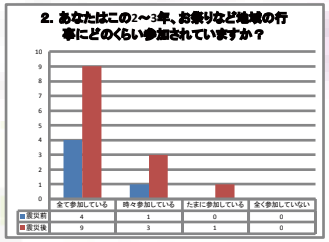


図２　地域行事について

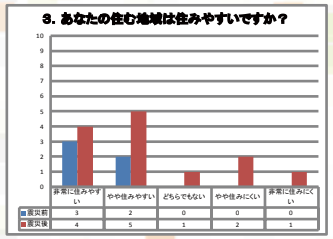


図３　住む地域について

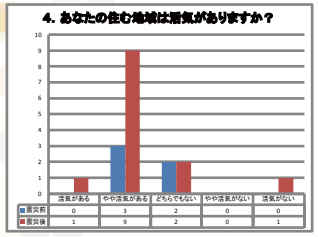


図４　地域の活気について

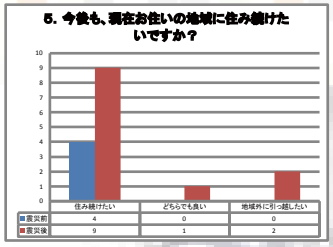


図５　居住地について

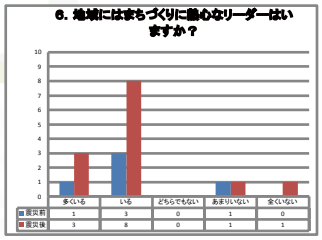


図６　地域内リーダーについて①

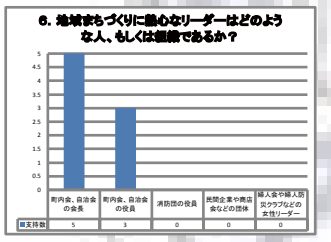


図７　地域内リーダーについて②

アンケート様式２

目　的：今回のワークショップ原則に沿って進められているのか検証するため

凡例
- 5　思う
- 4　やや思う
- 3　どちらでもない
- 2　あまり思わない
- 1　思わない

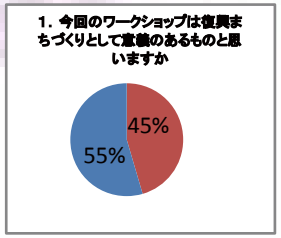


図８　今回のワークショップの意義について

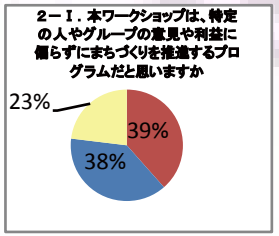


図９　今回のプログラムについてⅠ

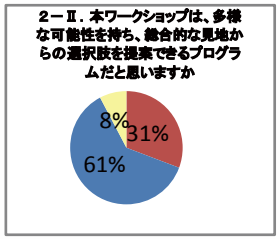


図 10　今回のプログラムについてⅡ

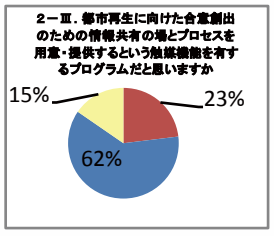


図 11　今回のプログラムについてⅢ

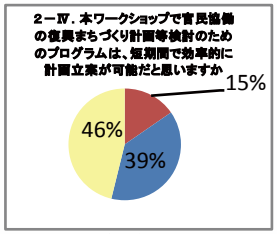


図12　今回のプログラムについてⅣ

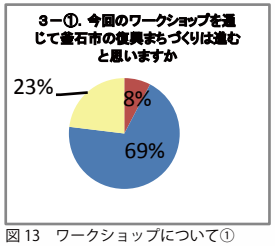


図 13　ワークショップについて①

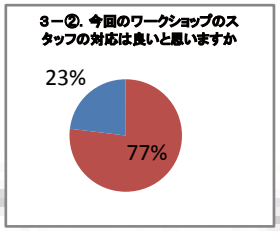


図 14　ワークショップについて②

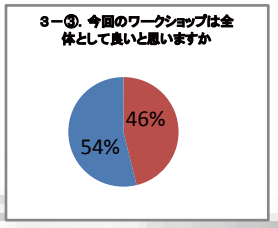
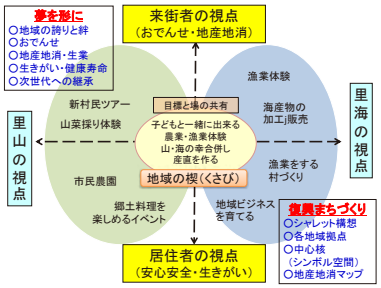


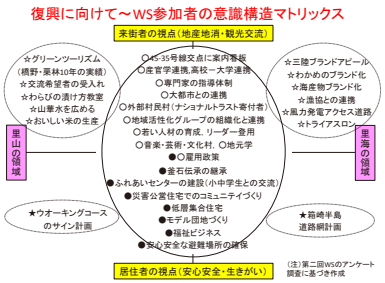
図 15　ワークショップについて③

今回解析した方法は
「都市再生整備計画における課題把握の手法に関する研究：プロモーション・リサーチ手法」
（日本都市計画学会第 41 回学術研究論　2006 年　芦野光憲、浅野光行）他に基づく

WS中の議論の分析

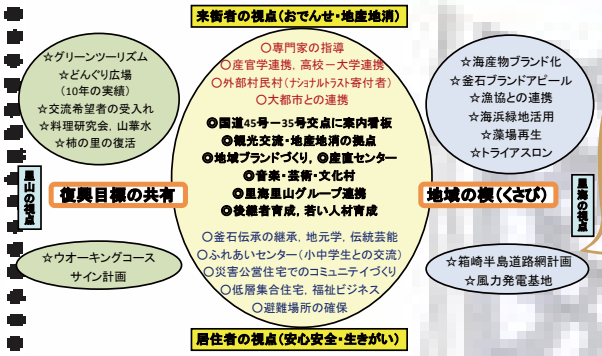
第1・2回WSのまとめ





前回行われた第１・２回ワークショップの成果を、視点別にまとめ直しました。

第３回WSのまとめ



今回行われた第３回ワークショップの成果も、視点別にまとめ直しました。

そして、私たちが考えた里山里海が連携できる観光交流拠点のイメージ図がこちらです！

図作成者　芝浦工業大学修士　津吹有香

持つべき機能：
(1) 地産地消交流・案内
（民宿・観光農業・観光漁業・郷土料理）
(2) 伝統文化・産業・芸能案内
(3) 復興まちづくりの地域拠点

※今後全体事業の計画設計の進行の中で具体化されていくもので、あくまでイメージであります。

ご協力ありがとうございました！！※次の頁では「多摩交流会報告」を紹介します！

多摩見学会＆交流会　～10/12-13～

多摩ニュータウンとは

戦後復興を経て東京に人口が集中してきた昭和 30 年代の時代背景の中から企画構想され開発された新住宅市街地です。
釜石市被災地復興計画との共通点があるため、ワークショップ内にて参加者のみなさんに呼びかけをしました。今回、地元から 3 名の方をお迎えしまして多摩にて交流会を行いました！

～参加者のみなさま～

おはこざき市民会議　佐々木國男副理事長　ご夫妻

栗林共栄会　栗澤　陽一様

ご参加ありがとうございました！

09:30 ～ UR 永山団地 4 - 2 街区見学

09:45 ～高台住宅地（若葉台、豊ヶ丘）

memo

傾斜の大きい丘陵地を切盛造成し、
住宅市街地を計画的に建設しました！

団地内には住民の方が育てた
ブルーベリーやハーブが！

10:30 ～パルテノン多摩歴史ミュージアム見学

memo

多摩ニュータウンの歴史がわかる
ミュージアムでした！

13:00 ～落合二団地：メゾン落合～トムハウス見学

memo

団地内には防災倉庫や共同菜園など、住民同士コミュニケーションを取れる場が多くありました！

16:00 ～恵泉女子学園大学にて交流会

memo

素敵なお菓子・ハーブティーを頂きながら
交流会！

最後はワークショップ同様、
みなさんでふるさとを歌いました♪

18:00　終了
みなさんお疲れ様でした！